

【企画展 6】

近世岩国の考える人々

1. 概要

現在確認できる文書資料を中心に、江戸時代の岩国で生きた人々が考えたことについて、その背景とともに紹介
(担当学芸員：枝元 咲)

2. 会期 令和3年12月26日(日)

～令和4年2月27日(日)

ただし、月曜日休館(祝日の場合は次の平日)、

12月29日～1月3日は年末年始休館



※新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置のため会期を変更

臨時休館：令和4年1月9日(日)～2月20日(日)

会期延長：令和4年5月8日(日)まで(GW中は開館)

3. 開館日数 40日 (令和3年12月26日～令和4年3月31日)

4. 入館者数 2,823人 (令和3年12月26日～令和4年3月31日)

5. 展示目録

No.	資料名	所蔵※
江戸時代に生きた人々		
1	関ヶ原陣所絵図	
2	儒門思問録	
3	西洋紀聞	
4	吉田松陰座像	
5	庭訓往来	
6	武士訓	
学問を担う人々		
近世岩国の儒学者たち		
7	宇都宮遯菴像	
8	御家中系図	
9	鼈頭近思録	
10	巖邑紀行	
11	儒者競 (パネル)	東京大学附属図書館蔵
12	圭斎唱酬	
13	御用所日記 (享保5年)	
14	学校御造立記	
15	儀礼鄭註	
地誌・民俗を検討する		
16	享保増補村記	
17	玖珂郡志 (二)	
政治・社会に向き合う人々		
18	岩国旧記 (十七)	
社会問題への対応－水問題－		
19	理水略	

20	岩国領絵図	
21	御触出控（二）	
社会問題への対応－衛生問題－		
22	疱瘡遠慮定	
23	御内用留	
24	御触出控（一）	
25	柳井種痘日記	
個別事例を考える		
26	御用所日記（享保20年）	
27	錦見町絵図	
28	御用所日記（寛政4年）	
29	節儉略	
30	封事十二箇条（松雪洞遺書目録）	
31	玉乃九華像	
32	養老館記 拓本	
時代の転換期に直面する人々		
33	相州浦賀異国船渡来図	
34	習静楼遺稿	
35	をしへ歌 三十三首	
36	沢瀉先生自画自賛肖像	
37	禅海翻瀾	
38	僧図	
39	東崇一郎報告書（周旋記資料）	
40	証心録	
41	天山遺稿	
42	新論	
43	探索書	
44	江本繁太郎書状（坂本家文書）	
生活の中で考える人々		
45	秋吉質書状（坂本家文書）	
46	秋吉質書状（坂本家文書）	
47	京師変動并ニ諸国評聞録	
48	妙法	
49	道後入湯旅行中万日記	
50	おおしま日記	

※記載のないものは岩国徴古館蔵

6. 関連行事について

（1）担当学芸員による展示解説

場所：岩国徴古館 第一展示室

日時：①令和4年3月27日（日）10時～10時30分

②令和4年4月16日（土）10時～10時30分

参加者：計5人（3月27日のみ）

7. 刊行物 企画展記念缶バッジ「玉乃九華像」 1個 100円